

1. 科目名 (単位数)	英米児童文学 (作品論) (2単位)	3. 科目番号	EDEN3318
2. 授業担当教員	山口 敬雄		
4. 授業形態	講義、演習、プレゼンテーション、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	この授業では、英米児童文学の歴史を概観し、英米児童文学の主要作家と作品を考察するとともに、その時代的・文化的背景をも明らかにする。知識の習得に加え、作品に描かれた子ども像の変遷を辿る作業が、「子ども」という概念に対するこれまでの認識を改める契機をもたらし、新たな視点の獲得へとつながるようになることを目的としている。また、作品の名場面を原文で鑑賞することも、貴重な読書体験となるにちがいない。この授業を履修することによって得られた英米児童文学に関する様々な知識は、将来教育現場で児童・生徒に読書指導を行う際にも必ず役立つ。		
8. 学習目標	1. 英米の児童文学の古典と新しい児童文学の主要作家とその主要作品について、使用されている英語表現も含め、理解している。 2. 英米以外の英語圏の児童文学の主要作家とその主要作品について、使用されている英語表現も含め、理解している。 3. 英米の絵本の主要作家とその主要作品について、使用されている英語表現も含め、理解している。 4. 英語圏の児童文学の時代的・文化的な背景を学習し、説明できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	児童文学作品への理解を深めるために、また、論理的な文章表現力を涵養するために、授業で考察した問題についてレポートを作成する課題を定期的に課す。学習方法や課題の提出方法等については、初回に詳しく説明する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 奥啓一他注解『あしながおじさん/Daddy Long Legs』成美堂。 【参考書】 本多英明・桂宥子・小峰和子編著『たのしく読める 英米児童文学』ミネルヴァ書房。 定松正編『イギリス・アメリカ児童文学ガイド』荒地出版社。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 英米の児童文学の主要作家とその主要作品について理解し、説明できるか。 2. 英米の児童文学の時代的・文化的な背景を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 レポート課題・プレゼンテーション (50%)、小テスト (25%)、受講態度・参加姿勢 (25%) の結果を総合して判定する。		
12. 受講生へのメッセージ	指定した範囲を事前に必ず読んでくること。その際、不明な点、疑問に思った点を書き出し、その解決に努めること。積極的にディスカッションに参加すること。辞書を必ず持参すること。		
13. オフィスアワー	初回にアナウンスする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第2回	“September 24th” pp.2-4 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第3回	“October 1st” pp.5-8 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第4回	“Wednesday” pp.9-13 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第5回	“March 26th” pp.14-18 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第6回	“May 30th” pp.19-24 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。

第7回	“Saturday night” pp.25-27 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第8回	“July 12th” pp.28-31 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第9回	“September 25th” pp.32-34 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第10回	“December 31st” pp.35-38 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第11回	“March 24th maybe the 25th” pp.39-42 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第12回	“August Third” pp.43-45 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第13回	“August 25th” pp.46-48 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第14回	“September 10th” pp.49-52 読解練習	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。
第15回	まとめ	事前学習	英文法を応用しながら、英文を何度も読み返して、構文と意味内容を把握すること。
		事後学習	誤解、理解不足、疑問があった点を確認しながら、英文の構文と意味内容の理解を深めること。